

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                         |     |              |
|----------------|-------------------------|-----|--------------|
| ○事業所名          | 特定非営利活動法人チャイルドハウスひなたぼっこ |     |              |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 1月 9日             |     | 2025年 1月 25日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                  | 36名 | (回答者数) 33名   |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 1月 15日            |     | 2025年 2月 13日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                  | 14名 | (回答者数) 14名   |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 2月 20日            |     |              |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                    | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等  |
|---|---|--|---|
| 1 | 利用者(障がい児)とその保護者との信頼関係   | 子ども立場に立って考え、納得できるまで話し合いをし、感情をぶつつけたり、八つ当たりをしても安心できる場であることを知らせる。保護者とは、迎時に子どもの状況に関わった職員から直接に伝え、保護者との信頼関係を築く努力しながら、共通理解を図っている。   | 個々の特性が違うことと、やはり誰もが職員と関わりたい気持ちを強く持っているので、一人ひとりに上手く関わりながら、これまで以上の信頼関係を築いていきたい。      |
| 2 | 個別活動や小集団活動の充実   | 平日活動については、活動時間が短いので学習や集中力を高めるための教材・教具を使つての創作活動など個別活動を充実している。長期休業中は、1日のスケジュールを充実させるため、いろいろな活動(音楽やダンス、創作活動、外活動)を計画に組み込んだりしている。 | 近くに公園や子ども達が思いっきり外活動ができる場がないため、隣接市の場所等を検索中。  |
| 3 | 放課後等デイサービスの活動だけでなく、親子活動や保護者活動など、子どもだけでなく保護者(特に父親)を巻き込むイベントの企画 | 年間計画に親子参加の活動を組み入れている。放課後等デイサービスを利用すると定員に限られるので、親子での参加は利用とせず、より多くの参加者で行っている。保護者同士も親子活動の中でしっかり親睦、連携ができていた。                     | 現在は土曜日に行っているため、長期休業中の平日などにも保護者の意見を取り入れながら、多くの人とのコミュニケーションが取れる場をもっと企画していきたいと思っている。 |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等            |
|---|--|--|---------------------------------|
| 1 | 立地条件(周囲が住宅・アパート)が原因で外遊びができない               | 事業所の駐車場くらいでは、簡単な活動ができるが、子ども達の特性で声の音量の調整が難しいため、外活動を躊躇してしまう。         | 現在、新築を計画中の建物に運動(体感的)スペースを入れている。 |
| 2 | 職員全員が情報共有する事                               | 常勤職員と非常勤職員の勤務時間(週1~4)の差があるため、申し送りノートや月1回のミーティングだけでは、情報共有が難しいことがある。 | 出来る限りの時間をとり、情報共有できる場を取り入れていきたい。 |
| 3 | 送迎車の不足                                     | 曜日によっては、5、6校のお迎えに同時刻に出るようになるため、2台自転車を出しての送迎を行っている。                 | 長期休業中のお出かけにも必要となる車の確保を検討中。      |